

特別寄稿論文

新学習指導要領に基づいた小学校社会科の評価改善

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小倉 勝登

1 社会科における評価の観点や考え方

学習評価についての基本的な考え方を受け、目標に準拠して、社会科では「知識・技能」については、これまで社会的事象の様子や働き、特色及び相互の関連を理解しているかを評価していた「社会的事象についての知識・理解」と社会的事象を的確に観察、調査したり、各種の資料を効果的に活用したりして、必要な情報をまとめているかを評価していた「観察・資料活用の技能」が対象としていた内容を引き継ぐことになる。「思考・判断・表現」については、知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものであり、これまでの「社会的な思考・判断・表現」の観点における考え方と同様である。「主体的に学習に取り組む態度」については、これまでの「社会的事象への関心・意欲・態度」の観点における考え方を引き継ぎつつ、さらに知識及び技能の獲得や思考力、判断力、表現力等を身に付けることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかを含めて評価する。また、「地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚など」については、社会的事象についての多角的な思考や理解を通して涵養し、長期的に子供の学習状況を見取ることが重要となる。

2 社会科における評価の観点と趣旨

社会科においては、目標を踏まえて、次のように評価の観点と趣旨を示している。

知識・技能	地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解しているとともに，様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめている。
思考・判断・表現	社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり，考えたことや選択・判断したことを適切に表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとしている。

3 「内容のまとまりごとの評価規準」について

「内容のまとまり」とは、学習指導要領に示す各教科等の「第2 各学年の目標及び内容 2 内容」の項目等をそのまとまりごとに細分化したり整理したりしたものである。社会科においては、次の通りである。

第3学年 (1) 身近な地域や市区町村の様子 (2) 地域に見られる生産や販売の仕事 (3) 地域の安全を守る働き (4) 市の様子の移り変わり	第5学年 (1) 我が国の国土の様子と国民生活 (2) 我が国の農業や水産業における食料生産 (3) 我が国の工業生産 (4) 我が国の産業と情報との関わり (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活のとの関連
第4学年 (1) 都道府県の様子 (2) 人々の健康や生活環境を支える事業 (3) 自然災害から人々を守る活動 (4) 県内の伝統や文化，先人の働き (5) 県内の特色ある地域の様子	第6学年 (1) 我が国の政治の働き (2) 我が国の歴史上の主な事象 (3) グローバル化する世界と日本の役割

この「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の観点ごとのポイントは、

(1)知識・技能

「知識」については、学習指導要領に示す「2 内容」の「知識」に関わる事項に示された「…を理解すること」の記述を当てはめ、それを児童が「…理解している」かどうかの学習状況として表し、評価規準を設定する。

「技能」については、学習指導要領に示す「2 内容」の「技能」に関わる事項に示された「…調べたりして、…まとめること」の記述を当てはめ、それを児童が「…調べたりして…まとめている」かどうかの学習状況として表し、評価規準を設定する。

(2)思考・判断・表現

「思考・判断・表現」については、学習指導要領に示す「2 内容」の「思考力、判断力、表現力等」に関わる事項に示された「…着目して、…を捉え、…考え、…表現すること」の記述を当てはめ、それを児童が「…着目して、…を捉え、…考え、…表現している」かどうかの学習状況として表し、評価規準を設定する。

(3)主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」については、学習指導要領に示す「2 内容」に「学びに向かう力、人間性等」に関わる事項が示されていないことから、学年目標や観点の趣旨を基に評価規準を設定する。ここでは、目標に示されている、「主体的に問題解決する態度」と「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」について「主体的に問題解決しようとしている」かどうかと「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている」かどうかの学習状況として表し、評価規準を設定する。

第4学年 (2)「人々の健康や生活環境を支える事業」を取り上げて、「内容のまとめりごとの評価規準」を示す。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人々の健康や生活環境を支える事業について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

4 単元の評価規準作成のポイント

小学校の社会科においては、学習指導要領に示された「内容のまとめり」は、複数の内容に分かれ、その内容ごとに単元を構成するものがほとんどである。そこで、「内容のまとめりごとの評価規準」をそのまま活用するのではなく、単元ごとに単元構成や学習過程に沿った具体的な評価規準を作成していくことになる。

(1)知識・技能

知識・技能については、「～を調べ、～まとめ、～理解している」などと知識と技能を関連付けて評価規準を作成する。

社会科の学習を通して児童が獲得する知識とは、地域や我が国の地理的環境、地域や我が

国の歴史や伝統と文化，現代社会の仕組みや働きを通して，「社会生活についての総合的な理解を図るためのもの」である。

また，児童が身に付ける技能とは，情報を集める技能，読み取る技能，まとめる技能などであると考えられる。社会科の「知識・技能」としては，これらの知識と技能を関連付けて「～を調べ，～まとめ，～理解している」などと捉えて評価することが大切である。それは，社会科は，資料を集めて読み取り社会的事象の様子を具体的に理解すること，また，調べまとめたことを基に考え，社会的事象の特色や意味などを理解することが大切だからである。

そこで，ここでは，学習過程に沿って，

- | |
|--|
| ①調べて，必要な情報を集め，読み取り，社会的事象の様子について具体的に理解しているか，
②調べたことを文などにまとめ，社会的事象の特色や意味などを理解しているか， |
|--|

という学習状況を捉えるよう，評価規準を作成する。

その際，評価場面によっては，知識を中心に学習状況を捉える場面や，技能を中心に学習状況を捉える場面があり得ることに留意することが大切である。

(2)思考・判断・表現

思考・判断・表現については従前通り一体のものとして評価規準を作成する。

見方・考え方を働かせて資質・能力の育成を図る観点から，「～着目して，問いを見出し，～考え表現する」という「追究場面」における評価と，「～比較・関連付け，総合などして，～考えたり，学習したことを基にして，選択・判断したりして表現する」という，社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする「解決場面」における評価について評価規準を作成する。

そこで，ここでは，学習過程に沿って，

- | |
|---|
| ①社会的事象に着目して，問いを見出し，社会的事象の様子について考え表現しているか，
②比較・関連付け，総合などして社会的事象の特色や意味を考えたり，
学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして，適切に表現しているか， |
|---|

という学習状況を捉えるよう，評価規準を作成する。

その際，単元によっては「社会への関わり方を選択・判断する場面」が設定されていない場合も考えられるため「考えたり，(中略)選択・判断したり」と示していることに留意し，単元の学習活動に応じて適切に文言を選びながら評価規準を設定することが大切である。

(3)主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度については，知識及び技能や，思考力，判断力，表現力等を身に付けることに向けて粘り強い取組を行おうとする側面と，粘り強い取組を行う中で自らの学習を調整しようとする側面について，「主体的に学習に取り組む態度」として評価規準を作成する。
--

そこで，ここでは，学習過程に沿って，二つの態度について

- | |
|---|
| ①社会的事象について，予想や学習計画を立て，学習を振り返ったり見直したりして，学習問題を追究・解決しようとしているか，
②よりよい社会を考え学習したこと を社会生活に生かそうとしているか， |
|---|

という学習状況を捉えるよう評価規準を作成する。

①の「予想や学習計画を立て」では，学習問題の追究・解決に向けて見通しをもとうとしている学習状況を捉えるようにする。また，「学習を振り返ったり見直したりして」では，問題解決に向けて，自らの学習状況を確認したり，さらに調べたいことを考えようとしたりする学習状況を捉えるようにする。その際，単元によっては，「さらに調べたいことを考える場面」が設定されない場合も考えられるため「振り返ったり見直したり」と示していることに留意し，単元の学習活動に応じて評価規準を設定することが大切である。

②の「学習したことを社会生活に生かそうとする」では、それまでの学習成果を基に、生活の在り方やこれからの社会の発展について考えようとする学習状況を捉えるようにする。これは「社会的な態度」と捉えることができ、社会に見られる課題を把握して社会への関わり方を選択・判断したり、多角的に考えて社会の発展について自分の考えをまとめたりする学習場面で表出されることが多いことが考えられるため、思考・判断・表現との関連性を踏まえて評価規準を設定することが大切である。その際、単元によっては「選択・判断する場面」や「発展について考える場面」が設定されない場合もあることに留意し、単元の学習活動に応じて評価規準設定の有無を含めて工夫することが大切である。

このような評価規準作成のポイントの基、学習指導要領の内容に関する記載事項、内容の取扱い、観点の趣旨を踏まえ、学習指導要領解説の記載事項を参考に、内容についてより具体的に示すよう作成する。詳細になりすぎないように、学習指導要領の記述形式を基に以下のように作成する。

具体的に、内容のまとまりとして、第4学年内容(2)「人々の健康や生活環境を支える事業」について、以下のように単元の評価規準作成例を示す。

- (1) Aについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。
- ア 次のような知識や技能を身に付けること
 - (ア) Bを理解すること
 - (イ) Cなどで調べて、Dなどにまとめること
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること
 - (ア) Eなどに着目して、Fを捉え、Gを考え、表現すること



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① E などについて C などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、F を理解している。	① E などに着目して、問いを見出し、F について考え表現している。	①A(に関する事項)について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしている。
②調べたことをDや文などにまとめ、Bを理解している	②〇と〇を(比較・関連付け、総合など)してGを考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	②よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。

第4学年内容(2)「人々の健康や生活環境を支える事業」の内容のまとまりにおける「廃棄物を処理する事業」の単元の評価規準を、ポイントを基に例を以下に示す。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ②調べたことを <u>白地図や図表</u> 、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。	①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 ② <u>ごみや下水などの廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を</u> 関連付けて廃棄物の処理のための事業が果たす役割を考えたり、 <u>学習したことを基に、ごみの減量や水を汚さない工夫など、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</u>	①廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に <u>ごみの減量や水を汚さない工夫など、自分たちが協力できることを考えようとしている。</u>

※線については、内容の取扱いの記載事項、解説の記載事項を参考に作成したことを意味している。